

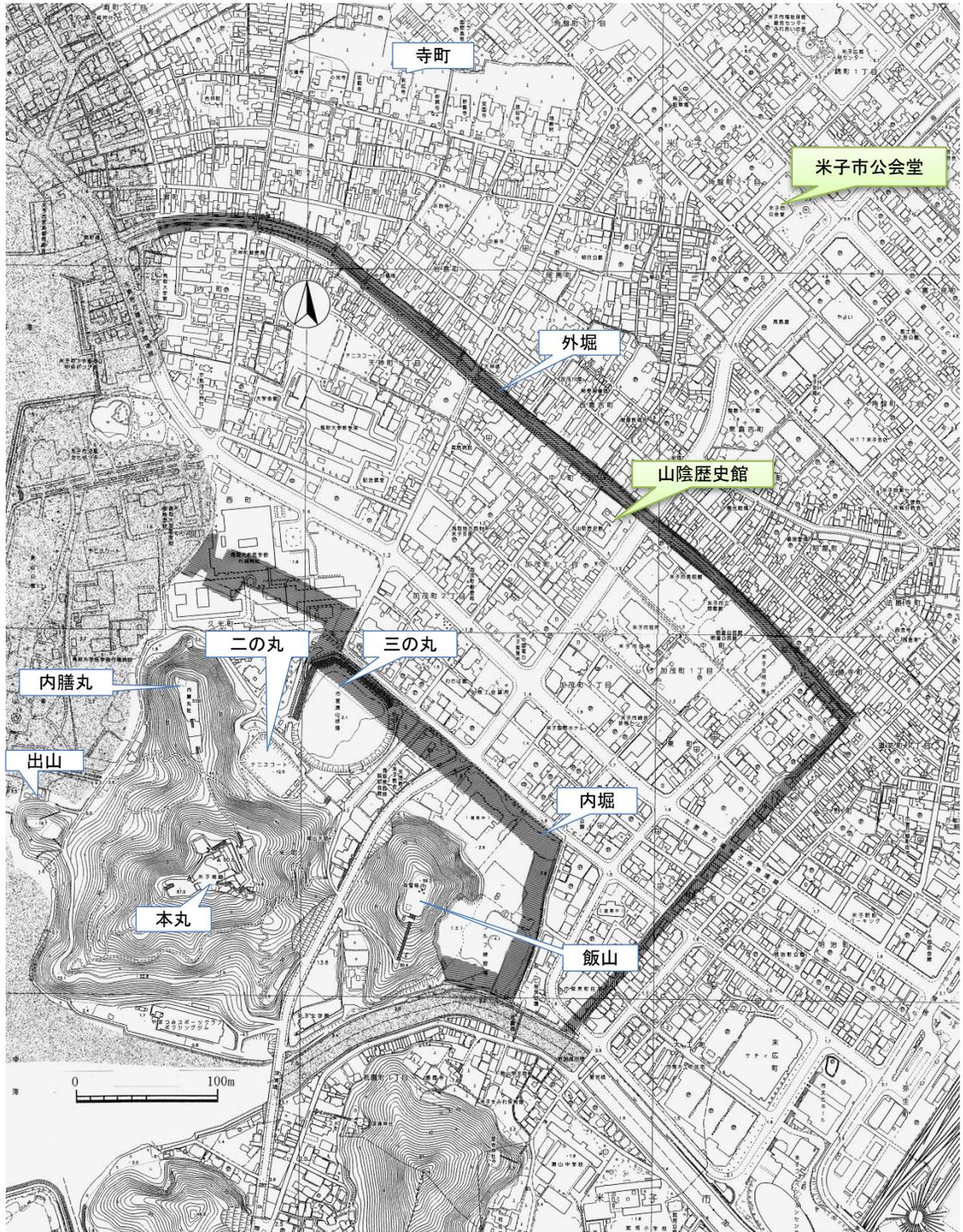
史跡米子城跡発掘調査 現地説明会資料



「米子御城明細図」[元文4(1739)年]

平成28年 3月 19日[土]

米子市教育委員会



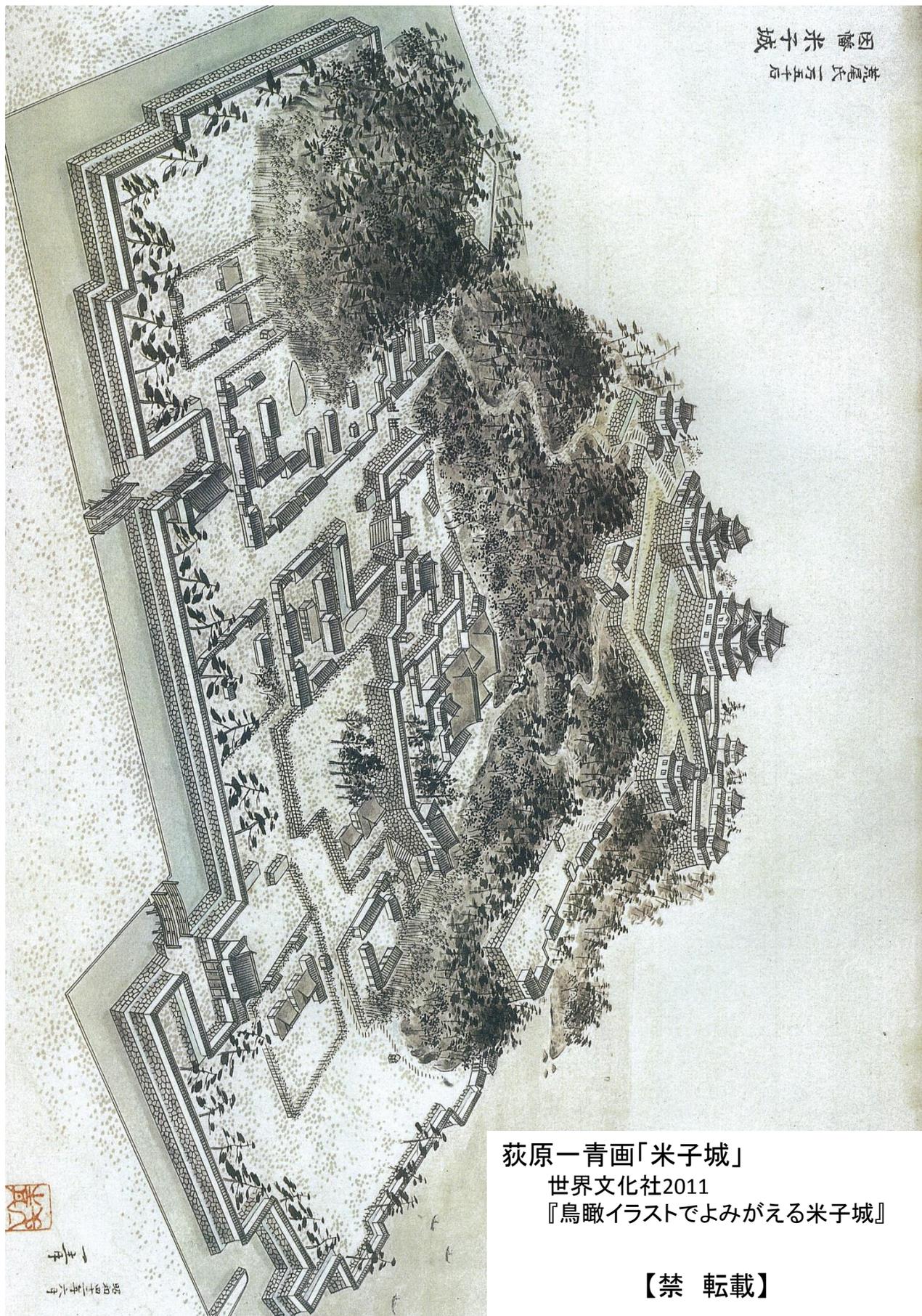
米子市街地図



この測量成果は、国土地理院長の承認及び助言を得て同院所管の測量成果を使用して得たものである〔助言番号〕平17 中公 第263号]

米子市街地の航空写真

荻原一青画
米子城



荻原一青画「米子城」

世界文化社2011

『鳥瞰イラストでよみがえる米子城』

【禁 転 載】



米子城
一青

史跡・米子城跡発掘調査成果について

平成28年3月6日

今年度は、現況踏査に基づき、今後の整備に資する資料を得るために対象地の内容確認を目的とするトレンチ9本の試掘調査を実施しました。

その結果、八幡台と推定される地区では、石垣を加工した時に割った石のかけらや、大型の切石などが散乱していました。また、この盛土下部に野面積の石垣が発見されました。この石垣は、自然石に近い石材を使用していることから、築城初期の構築であると考えられます。

このほか、水手郭下方において石垣をめぐる上下二段の郭が確認されました。

以上、今回の調査では、米子城南斜面の深浦側にも良好な遺構が存在することが判明しました。既存の絵図に描かれない郭や石垣が発見されたことは米子城の性格を解明する上で非常に重要であると考えられます。



「米子御城平面図」に記載された「八幡台」[部分・江戸末期]

米子城・米子町関連年表

米子城

- 1467 応仁の乱 米子飯山に山名宗幸が砦を築く
- 1470 山名軍（羽衣石、小鴨、南条）尼子清貞軍に境松で破れ米子城に逃げ込む（出雲私記）
- 1524 5月 尼子経久伯耆に侵入 米子城、淀江、尾高、天満、不動嶽の城を攻め落とす（大永の五月崩れ）
- 1562～1566 尼子毛利の抗争 尼子氏没落
- 1571 山中鹿之助らによる尼子氏再興運動 羽倉孫兵衛500人で米子町を焼く
城番 福頼元秀は防ぎきれず、城に逃げこむ
- 1578 尼子勝久上月城で自刃 尼子氏滅ぶ この頃の米子城番 古曳吉種
- 1580～1582 織田対毛利の合戦 本能寺の変
- 1585 秀吉と毛利輝元の和睦 八橋以西の伯耆三郡が毛利氏の領地となる
- 1591 吉川広家が秀吉から西伯耆、出雲、備後など12万石を認知され、富田城に入るが、居城を米子に変え、山県九左衛門を奉行として築城開始
お立山を「湊山」と改名
- 1592～1958 文禄慶長の役（朝鮮出兵） 1592 古曳吉種朝鮮で討ち死
- 1600 関ヶ原合戦 吉川広家西軍として出陣 築城奉行は祖式九右衛門（長吉）
吉川広家岩国（3万石）に転封 代わりに駿府より中村一忠（18万石）入国
この頃城は7割方完成（好問随筆 内堀、四重櫓、枅形、侍屋敷）
- 1603 中村一忠、家老の横田内膳を暗殺 横田主馬らと一忠との戦い（米子騒動）
- 1609 中村一忠急死 中村家断絶 岐阜黒野より加藤貞泰入国（6万石）
- 1631 池田光仲因伯支配（32万石）家老荒尾成利が米子城預かりとなる
- 1852～1854 四重櫓と石垣を鹿島家の負担により大修理
- 1868 明治維新 三の丸米倉は松江監獄の牢屋となる
- 1873 山本新吉37円で米子城天守を取り壊す

八幡台石垣はこの頃？

水手御門下の郭石垣
はこの頃か？

八幡台作業場

米子町

- 1467年応仁の乱の時飯山に砦が築かれる以前に漁師町あるいは港町として成立していた
- 1524（大永4年）5月尼子経久による伯耆侵略 焼き討ち、略奪にあう 大永の五月崩れ
- 1571（元亀2年）尼子方羽倉孫兵衛による米子町焼き討ち
- 1591 吉川広家伯耆西3郡の城下町の住民を米子に勧誘する
法勝寺 四日市（戸上城）尾高 日野（黒坂）
- 1600 吉川広家関ヶ原出陣による米子城完成のため住民6割動員
- 1603 中村一忠入国 家老横田内膳の経済政策 倉吉、岩倉（関金）の住民を米子に勧誘し、米子町の都市計画を立案（総がまえ型→内町外町型）
外堀と加茂川にはさまれた中央に中筋を通し、短冊形の町屋を配置する。米子港についた船から舳で荷を運び入れる。外堀にかけた七つの橋から天守が見えるようにする。（ビスタ）
米子港の寄港自由、検地、木材などを米子を介するようにする。

史跡・米子城跡全体図

〈平成28年3月.現在〉



登り石垣



八幡台で検出された石垣



水手郭下に検出された郭の石垣



八幡台盛土上面の割石や碎石の散乱した状況



割石と共に出土した年号の刻印された瓦[嘉永癸丑] (嘉永6年) [1853年]

